

【選択領域】試験分割型

主な受講対象者	小・中（国語）・高（国語）	履修対象職種	教諭
開設講習名	【選択】古典教育の基礎		
開設日	令和3年（2021年）11月20日（土）		
担当講師	1・2限 花坂 歩（教育学部准教授） 3・4限 安道 百合子（教育学部准教授）		
履修認定試験＜試験分割型＞ （2限と4限の終了後に試験を実施します。）		試験時に配付資料・ノートの参照：可 （タブレット端末の参照は不可）	
<p>担当講師からの連絡事項等</p> <p>お手持ちの学習指導要領の解説編（国語）をご持参ください（新たな購入は不要）。2限目には体操、発声、発音の実技を予定しています。服装は「動きやすいもの」。発声、発音の実技については、受講人数に応じて、感染症対策が十分に行われるよう配慮します。</p>			
1  限 (9:00～ 10:15)	学習指導要領（小学校・中学校・高等学校）における古典の取り扱いを概観する。		
2  限 (10:30～ 11:45)	範読に必要な身体の弛緩、発音・発声、朗読基礎技法の習得を目指す。その上で、授業に活用可能な「音読活動」を学習する。題材は教科書所収の古典関連作品を予定している。		
(12:00～ 12:30)	履修認定試験		
3  限 (13:30～ 14:45)	<p>平安後期の短編物語集『堤中納言物語』のなかから、「はいずみ」「虫愛づる姫君」の二編をとりあげ、本文と解釈、現在の研究動向について解説する。</p> <p>「はいずみ」は、いわゆる二人妻説話の内容で関連教材も多い。『伊勢』『大和』などの歌物語、『今昔』『古本説話集』などの説話、『源氏物語』『末摘花巻』など、関連教材を紹介しつつ、比較する。類似作品を読み比べることによって作品の個性やジャンルの違いに気付く契機としたい。</p>		
4  限 (15:00～ 16:15)	古典文学の読解は、異なる価値観に出会い対話する機会にもなり得る。「虫愛づる姫君」は、当時のジェンダー規範に対して主張する姫君が主人公の物語である。作品読解とともに、現代に至る享受の様相もたどる。		
(16:30～ 17:00)	履修認定試験		